

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立武蔵野小学校

校長名 岡部 操 公印

令和4年度教育課程について (届)

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記の通りお届けします。
記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標 (重視する「育成を目指す資質・能力」)

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図るとともに、学校・家庭・地域と密接に連携する。ふるさと昭島の自然や文化を愛し、未来社会の変化に対応できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指すために、次の三点を教育目標とする。

○しっかり考える子・・・よく見て、よく聞き、よく考える力を培い、思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども
⇒「問題解決力」

○心やさしい子・・・生命の尊さと人権尊重の精神を学び、感性あふれる豊かな心をもつ子ども
⇒「人間関係形成力」

○つよく元気な子・・・健康、安全に心を配り、すすんで心と体を鍛えることができる子ども
⇒「体力・活力」

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア しっかり考える子「問題解決力」を育成するために

- (ア) 「ICT活用マニュアル」に基づき一人1台のタブレット端末を活用し、「個別最適な学び」の実現を図ることで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。
- (イ) 授業力向上アドバイザーによる指導を受け、授業改善に取り組み、児童自身が課題意識をもって学習できる発問や学びの場、振り返りを工夫する。授業改善推進プランの作成を基に主体的・対話的で深い学びの実現に努めることで、思考力、判断力、表現力等の向上を図る。
- (ウ) 総合的な学習の時間を中心に、各教科等と関連付けて持続可能な開発目標の学習を推進し、持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育成する「習得・活用・探求」という学習プロセスの実現を目指す。

イ 心やさしい子「人間関係形成力」を育成するために

- (ア) 特別活動や道徳科の授業改善を推進し、人権意識を高め、自他ともに大切にできる態度を育成する。その際、体験的な学習を充実させ、児童相互の関わり合いを計画的に実施し、コミュニケーション力と自己肯定感を高め、児童が個々のよさを発揮できるようにする。
- (イ) 集団の一員である自覚と規範意識の育成を図る。学級満足度調査の結果を、予防・開発的に活用し、集団としてまとまりがある学年・学級を形成する。
- (ウ) 「いじめ総合対策」の冊子を活用し、いじめの早期発見、早期対応に努め、様々な課題を抱える児童及び保護者への教育相談体制の充実を図る。

ウ つよく元気な子「体力・活力」を育成するために

- (ア) 「元気アップガイドブック」等を活用し、遊びと関連させながら基礎的な体力の育成・向上を図る。系統性を重視した意図的・計画的で日常的な体育活動の充実を進め、子ども達一人一人の健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現できるようにする。
- (イ) 新しい生活様式に基づいた感染症対策の徹底を図るとともに、健康に関する指導を充実させる。がん教育を推進し、健康と命の大切さについて、主体的に考える児童の育成を図る。児童の体力向上と健康増進ができるようにする。また、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を栄養士と連携し、掲示物等を充実させて育成する。アレルギー研修を年度初めに行うとともに、アレルギー疾患対応マニュアルを全教職員に周知したり定期的に確認したりすることで、食の安全を確保する。
- (ウ) 家庭と連携して、学期ごとに「グッドモーニング60分」に取り組み、児童の健全な生活習慣の定着を図る。

エ 学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- (ア) 特別支援教室と連携し、特別な支援が必要な児童への充実を図る。校内委員会の充実を図り、学校生活支援シート及び個別指導計画をもとに、個々の児童の障害の状況に応じたきめ細やかな学習指導・支援体制を整備する。また、「昭島市立学校教育のユニバーサルデザイン」に基づき、全ての児童にやさしい学校・学級の実現を図る。
- (イ) 副籍や居住地交流制度を活用し、交流学習を通して相互理解を進め、子ども同士の豊かな関わり合いから心の醸成を図る。
- (ウ) 学校・家庭・地域の連携・支援体制の確立を基に推進する環境教育を中心とした、持続可能な社会づくりに必要な資質・能力の育成を図り、その教育活動や児童の様子を学校だよりやホームページなどを通じて積極的に発信する。
- (エ) 一人一人のキャリア形成と自己実現に向け、キャリア・パスポートの充実を図るとともに、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育を実現する。
- (オ) 学校公開を推進し、家庭・地域との信頼関係を構築する。毎月保護者や地域関係者が来校する機会を設定する。(学校公開、学校行事等)
- (カ) 家庭・地域との連携を充実させ、教育活動への参画意識の向上を図る。地域行事やPTA活動へ積極的に参加し児童の健全育成に努める。
- (キ) 教育目標に向かって意欲的に取り組む組織的な基盤を醸成する。PDCAと職層制度を活用した校務分掌の運営、担当者の創意・工夫のある起案を実施する。教員の「抱え込み」を排除し、チームによる問題解決を行い、教育活動の活性化、指導の充実を図る
- (ク) 教育公務員としてサービスの徹底を図り、児童・保護者との信頼関係を構築する。定期的な研修と日常的な研修により資質向上を図る。